

2022・8・5 開会

第4回町議会臨時会

令和4年第4回町議会臨時会が、8月5日に開かれ、議案3件、承認1件について審議しました。

主な審議内容は、次のとおりです。

◆令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

令和4年度国民健康保険特別会計予算に歳入歳出それぞれ四十万円が追加され、予算総額七億四千五百六十万円となりました。

補正のおもなものは、歳入が特別交付金の追加、歳出は保険税還付金の追加です。

◆令和4年度ガス事業会計補正予算（第一号）

令和4年度ガス事業会計予算の資本的収入に三千百万円が追加され、予算総額六千九十五万円、資本的支出に三千九十万円が追加され、予算総額八千八百六十八万九千円となりました。

◆令和4年度一般会計補正予算（第四号）（専決処分）
高齢者入浴料金助成事業のため、歳入歳出にそれぞれ三百九十一万九千円を追加し、予算総額を五十八億八千七百三十八万二千円とする補正予算を、地方自治法第七十九条第一項の規定により専決処分したものです。

◆令和4年度一般会計補正予算（第五号）

令和4年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ三億百八十二万千円が追加され、予算総額六十一億八千九百二十万三千円となりました。

補正のおもなものは、歳入が新幹線建設関連の基金繰入金などの追加、歳出は町営住宅解体工事請負費などの追加です。

木幡町長の

行政報告

= 令和4年8月5日 =

第4回町議会臨時会開会にあたり行政報告を申し上げます。先の町長選挙におきまして、無投票当選により3期目の町

政の舵取りを務めさせていただくことになり、その意義や責任の重大さを痛感しており身の引き締まる思いであります。

3期目就任後、初めての町議会開会にあたり、これから町政運営について、議員各位、そして町民のみなさまに私の基本姿勢をお示しして、ご理解とご協力をいただきたいと存じます。

私は、平成26年7月23日に、「パワフルな行動力と熱い口マン」をスローガンに町長に就任させていただきました。以来、「町民が主人公」を信条として、町民の声に耳を傾け町政運営に取り組んでまいりました。

北海道新幹線長万部駅については、市街地を分断させず、津波災害にも強い駅舎とするため、議員各位をはじめ、北海道新幹線建設促進長万部町期成会など関係機関のご協力をいただき、認可変更を求めて行動を続けた結果、平成29年6月30日に地平駅から高架駅に認可変更の許可をいただいたところであります。

2期目の町政運営にあたっては、町財政の健全化に配慮しつつ、安心・安全なまちづくりをテーマに、防災ラジオの設置を含めた防災行政無線の整備、高校生までの医療費無料化など子育て支援の充実

強化、活気あふれる産業の育成など、本町が誇りと希望の持てるふるさととして、未来に向かい永続的に発展できるよう、町民のみなさまと英知を結集し、各種施策の実現に全力を挙げて取り組んでまいりました。

しかしながら、今日、新型コロナウイルス感染症対策、人口減少や少子高齢化の進展、自然災害に対する防災・減災対策など、依然として厳しい環境下にあります。

3期目にあたっては、これらの課題のほか、入園待機児童をつくらない子どもたちの健やかな成長を育む子育て支援、時代の進む速さに驚愕せず、家族の絆や愛、友達との絆、命の大切さを青少年が学び生き生きと成長する環境づくり、お年寄りが健康で安心して日々生活できる福祉サービスの実現、東京理科大学長万部キャンパスとの連携強化、B&G財団との海洋センターを通じて交流、二〇五〇年までに二酸化炭素排出ゼロを目指す

指した脱炭素社会の実現、将来の商店街の活性化につなげる展開の推進、津波の被害が心配される町立病院の移転建設の検討、本町通の道道拡幅や土地区画整理事業を含めた都市計画決定など、課題のひとつひとつに真正面から取り

組み、その先の未来へ向かって町政を進めてまいります。行政は立ち止まることなく進まねばなりません。福祉・産業・教育、進む人口減少・少子高齢化への対策や国が推進するゼロカーボン、行政のデジタル化、SDGsを実践する町として、アフターコロナを見据えた取組を推進するため、議員のみなさまにも議会でのご議論を賜り、町民との対話による信頼関係をもとに、職員と一体となり、変わらぬ長万部から、変わる長万部に全身全霊をもって努力してまいります。

以上、町政運営に対する抱負を申し述べましたが、改めてこの街を築き、守り育ててくれた先人のみなさまのご苦労に感謝しながら、私は大地にどっしりと力強く根を張り、風雪に耐え抜く太い幹を育て、しなやかに伸びる枝葉を育てながら、まちづくりに全力を傾注して町長の重責を日々努めてまいります。

与えられた4年間の任期を、町民の生命と財産を守り、安心・安全な住みよいまちづくりの実現に努めてまいりますので、議員各位、そして町民のみなさまにおかれましては、なお一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。報告を終わります。